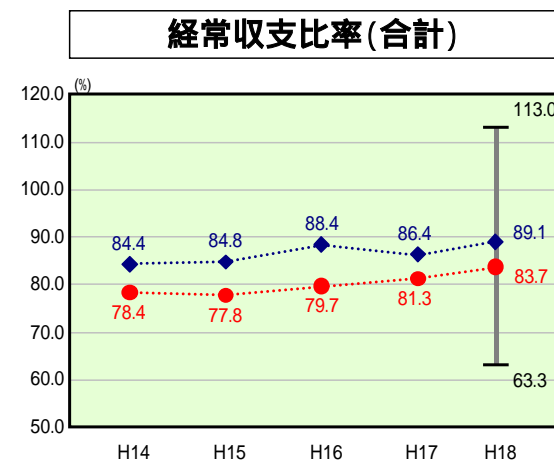


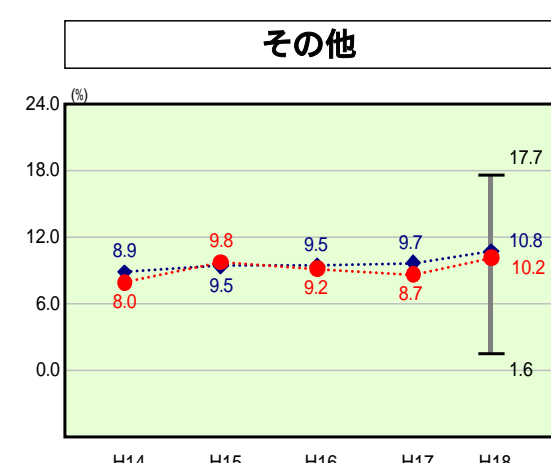
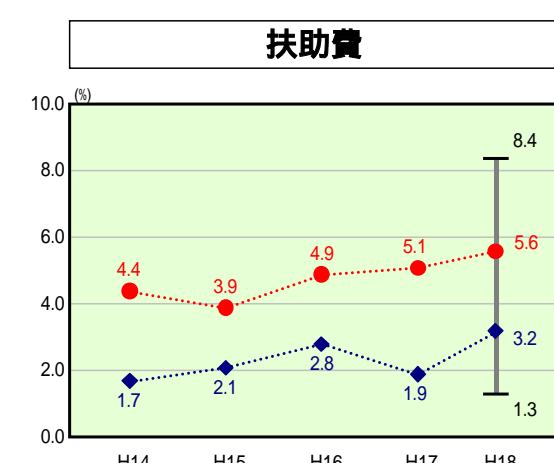
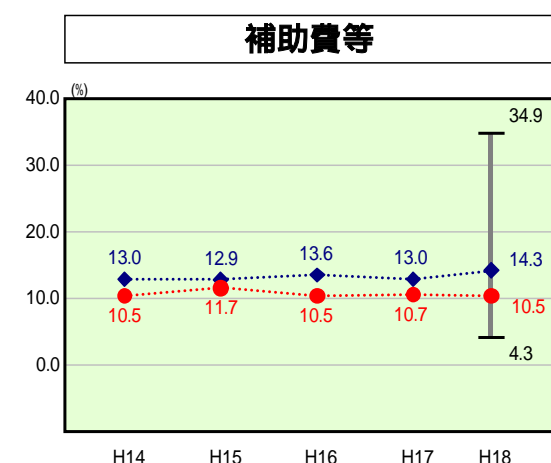
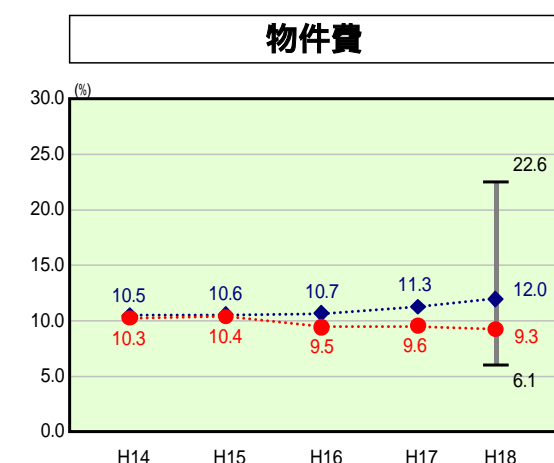
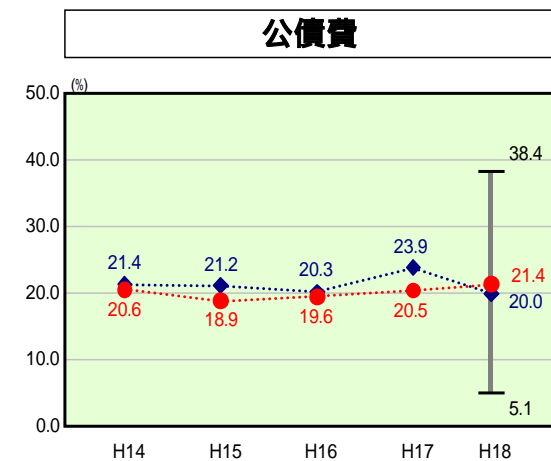
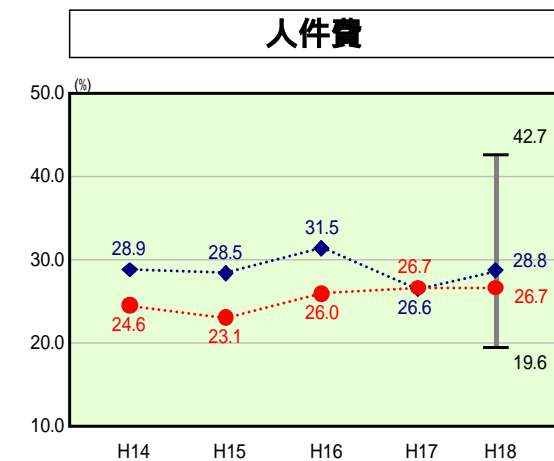
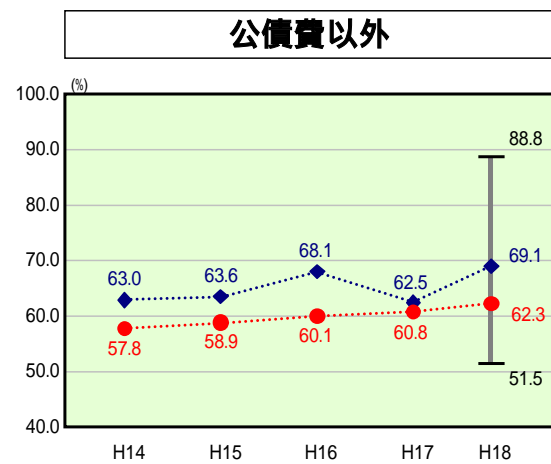
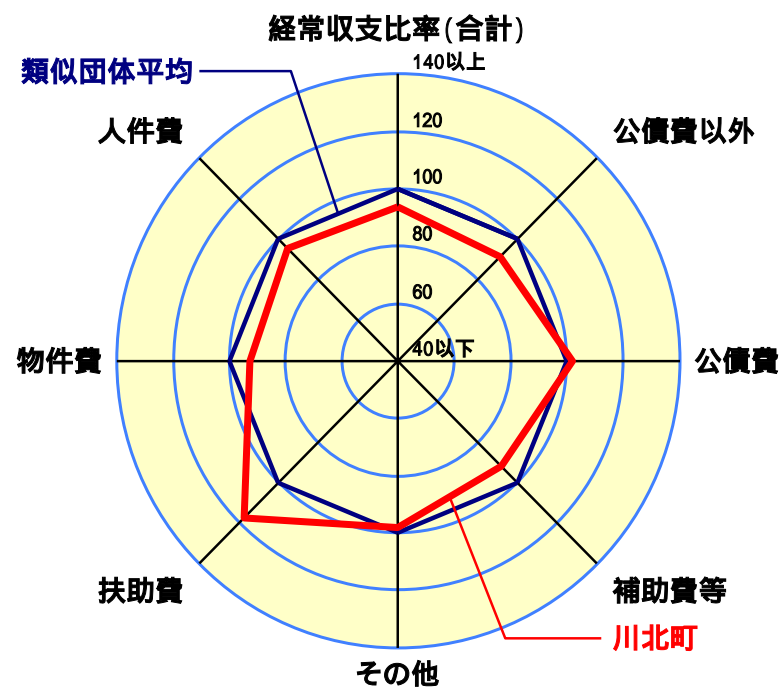
# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

石川県 川北町

## 経常収支比率の分析



当該団体値	●	人口	5,876人(H19.3.31現在)
類似団体内平均値	◆	面積	14.76 km <sup>2</sup>
類似団体内最大値	┘	歳入総額	3,537,308千円
類似団体内最小値	└	歳出総額	3,455,203千円
		実質収支	70,117千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**人件費:**  
 類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなっており、引き続き川北町の集中改革プランに基づき、人件費の抑制に努める。

**物件費:**  
 物件費に係る経常収支比率が下回っているのは近年の経常経費の削減によるものと考えられる。

**扶助費:**  
 扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、中学校卒業時まで医療費の無料化や不妊症治療費給与金など扶助費に係る町独自の手厚い少子高齢化対策によるものであり、上昇傾向にあるのは、町営住宅や新興住宅の建設により人口が急増したことにより児童数が増加にあるためである。

**補助費等:**  
 補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を下回っているのは、補助金などの見直しを行っていることが挙げられる。

**普通建設事業費:**  
 過去5年間の類似団体の平均を下回っているのは、単独事業を大幅に抑制していることが理由に挙げられる。